

一人でも多くの方に、「見える喜び」を ロート製薬、Alina Vision 社設立に参画 独自のビジネスモデルで社会に貢献！ 世界中に“患者が無料で白内障治療を受けられるモデル”※1を展開

※1“Affordable Eye Care Model”

ロート製薬株式会社(本社:大阪市、社長:吉野俊昭)は、世界中の人々の「見える喜び」をサポートする活動の一環として、Alina Vision 社設立に出資致します。同社は“Affordable Eye Care Model”によって、新興国を中心に多くの患者を失明の危機から救ってきた社会起業家 David Green 氏や The Fred Hollows Foundation 等が中心となり、これまでの活動をよりスピーディーかつ広範囲で行うことを目指して設立するものです。ロート製薬は、同社の理念に共鳴し、その活動を支援することで、ボランティアや寄付にとどまらない、社会貢献に繋がる持続可能なビジネスモデルの普及にチャレンジ致します。

【Alina Vision 社について】

<設立の背景>

「すべての人に質の高い眼科医療を、持続可能なビジネスモデルで提供する」為に、David Green 氏 (Executive Director)、Ben Midberry 氏 (Managing Director)、The Fred Hollows Foundation (Co-Founder) は Alina Vision 社を設立しました。International Agency for the Prevention of Blindness (IAPB) によると世界中には 2.5 億人の方に視覚障害があり、白内障は簡易的な手術で治せるにも関わらず、25.8%に当たる方が白内障により視覚障害があります。白内障は低所得国の主な失明原因となっており、この課題の背景には、医師不足と共に旧来の高価な眼科医療が貧困によって受けられないことが、原因となっています。

“Affordable Eye Care Model”とは、高品質な医療サービスを一律に提供しながらも、同時に提供する周辺サービスを差別化することによって、それぞれの患者に合わせた価格帯(払える患者は一般価格、少し払える患者は格安価格、払えない患者は完全無料)で医療を提供できるようにするもので、収益を上げながら、完全無料患者を 2 割以上受け入れることができるモデルです。David Green 氏はインドの「Aravind Eye Hospitals」※2 と共にこのモデルを推進、2016 年の一年で 400 万人もの患者を治療。今回、自らが中心となって Alina Vision 社を設立することにより、同モデルを取り入れた病院の立ち上げ、既存病院への導入を加速させることで、すべての人に質の高い眼科医療を提供し、一人でも多くの方を白内障による失明の危機から助けることに取り組んでいきます。

※2 Aravind Eye Hospitals はインドの南部に 12 の病院・診療所を持つ眼科専門病院です。2016 年の治療患者数は 400 万人にも上っており、46 万例もの手術を行い、年間の手術数は世界一です。

<Alina Vision 社概要>

- ・商号: ALINA VISION PTE. LTD.
- ・所在地: 50 Raffles Place, #06-00 Singapore land tower, Singapore
- ・参画企業(共同創立者): David Green 氏 (Executive Director)、Ben Midberry 氏 (Managing Director)、The Fred Hollows Foundation (Co-Founder)、ロート製薬株式会社
- ・事業内容: 病院の設立、既存病院へのコンサルティング

世界の視覚障害原因

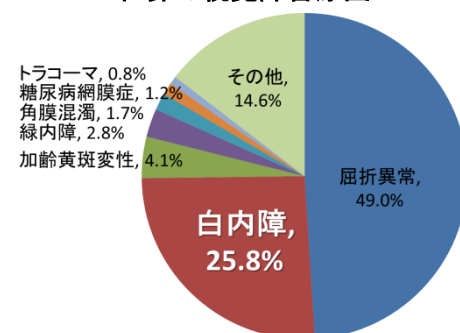


図 1. 世界の視覚障害原因(2015) IAPB より



図 2. インド、マドurai県にある Aravind Eye Hospital



・**設立目的**:すべての人に質の高い眼科医療を、持続可能なビジネスモデルで提供する

・**設立年月日**:2017 年 7 月 7 日

・**資本金**:120 万 USドル＝約 1.27 億円

・**David Green (Executive Director)**:“Affordable Eye Care Model”の構築をインド中心に 30 年以上行ってきた社会起業家です。世界的に有名な「オーロラボ社」の設立に多大な貢献をし、白内障治療のためのレンズが通常約 300ドルしていたところ、利幅を圧縮する事にて同様の品質のものを約 2ドルで提供することでレンズ市場を拡大。「オーロラボ社」のレンズは“Affordable Eye Care Model”を構成する重要な要素の一つとなっています。

・**Ben Midberry (Managing Director)**:低所得コミュニティのための自立的経済発展を支援するビジネスファイナンスに経験が深く、Alina Vision を立ち上げる前は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社サステナブル投資部部長として「Eye Fund I」という、“Affordable Eye Care Model”を取り入れた眼科病院の為のソーシャルファンドを率いてきました。

・**The Fred Hollows Foundation (Co-Founder)**:予防可能な失明を世界中から無くす為に、眼科治療からスタッフの教育、医療設備の整備までをサポートしているオーストラリアの国民はじめ政府や国際的な資金提供機関からも支持されている財団です。財団はシドニーに 25 年前に設立され、世界 25 개국で活動。既に 200 万人もの患者を失明の危機から救いました。

【ロート製薬の参画目的】

ロート製薬は、アイケアのリーディングカンパニーとして世界中に「見える喜び」を届ける為に、これまでアジアやアフリカで無償眼科検診や白内障治療の支援などの眼科支援活動を行ってきました。しかしながら、手術で治せるはずの白内障が失明原因の一位という国はまだまだたくさん存在するのが現実です。この社会問題に継続的に取り組むには持続可能な仕組みが必要です。今回、ロート製薬が Alina Vision 社設立に参画する目的、それはもっと多くの方に、且つ持続的に支援の手を差し伸べるためです。ロート製薬は単なる寄付ではなく、投資という形で Alina Vision 社の設立と発展に参画し、よりスピーディーにより多くの方を助けるべく、世界中に持続可能なビジネスモデルですべての人に質の高い眼科医療の提供を目指します。

■ Alina Vision の詳細はこちらをご覧ください:www.AlinaVision.com

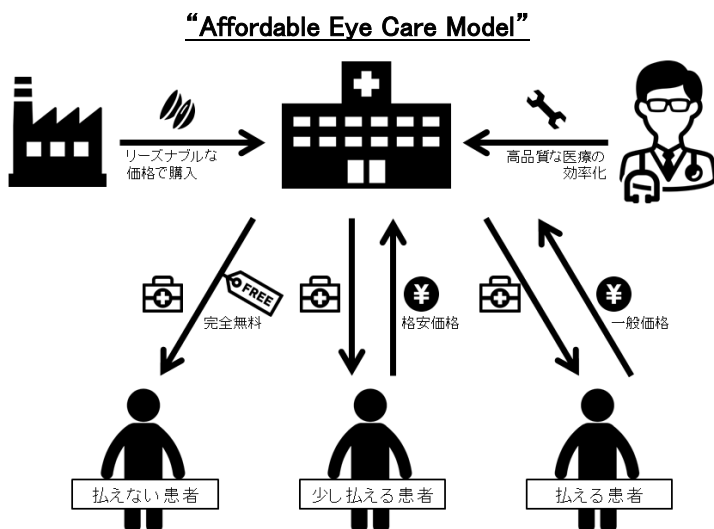


図 4. “Affordable Eye Care Model”

質の高い眼科製品をリーズナブルな価格で仕入れ、高品質の眼科治療をより効率的に提供できる仕組みを導入することで、それぞれの患者に合わせた価格帯（払える患者は一般価格、少し払える患者は格安価格、払えない患者は完全無料）で医療を提供。収益も上げながら、完全無料患者を 2 割以上受け入れることができるモデル。

Alina Vision への投資とリターンのフロー

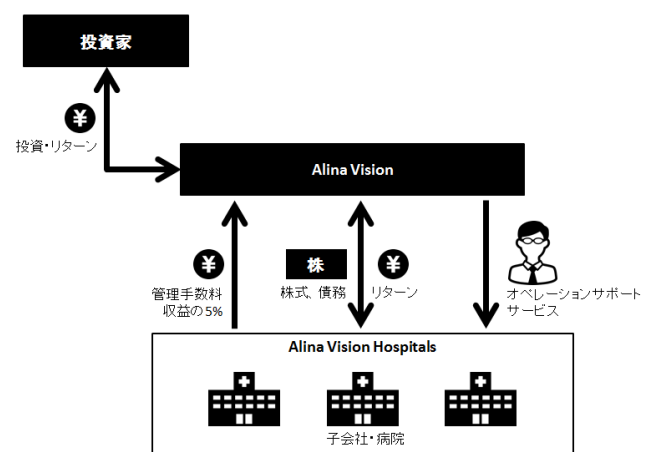


図 5. Alina Vision への投資とリターンの流れと Alina Vision と Alina Vision Hospitals との関係

- ・「NEVER SAY NEVER」は、ロート製薬株式会社の登録商標(登録第 5838870 号)です。

＜お問い合わせ先＞ ロート製薬株式会社 広報・CSV推進部
〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪タワーB29 階
大阪オフィス 西脇・加古・矢野・藤田 TEL : 06-6758-1211 FAX : 06-6758-9820
東京オフィス 岡野・林・柴田 TEL : 03-5442-6074
広報・CSV推進部 大阪・東京共通メールアドレス:pr@rohto.co.jp